

築上町の魅力に気づき、  
新たなまちの未来を築く



き づ く  
き ず く  
築 上 町

福岡県築上町

町勢要覧

2022





手形・足形

## アート ワークショップを 開催しました!!

町勢要覧作成にあたり、築上町児童館に集まった子どもたちによる手形・足形アートを作るワークショップを開催しました。お母さんやお父さんに見守られる中、初めは絵の具を恐る恐る手足に塗る子どもたち。でも最後にはみんな笑顔で、たくさん作品ができあがりました。手形・足形アートは、鳥や特産品などに見立てて各ページに登場します。当日は子どもたちの「楽しかった!」という声も。小さな手足でいっぱい描いた一日。この日の思い出は、築上町を好きになる気づきにつながるでしょう。



### 豊かな生活の場を めざして



築上町長  
新川 久三

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催と時期を同じくして、災害に強く利便性のよい新庁舎がグラウンドオープンしました。築上町は事前キャンプ地として、数多くのボランティアの協力のもとオセアニア島しょ国の選手を受け入れを行いました。これを契機に、国際交流や共生社会実現への機運も高まり、心も体も健康に暮らせる生活の場、心が通い合う活力とにぎわいのある地域づくりの歩みをさらに前へと進めています。

この町勢要覧には、まちづくりの主役として活躍する皆さま、未来を担う子どもたちに数多く登場していただきました。築上町のこれまでの歩みと、これからの可能性を存分に感じていただき、築上町の魅力をお伝えできる一冊となれば幸いです。

くく町  
づく上  
きき築

- 2 プロローグ
- 4 安心して子育てができるまち
- 6 築上町で築くライフステージ
- 8 築上町MAP
- 10 住み良い築上町
- 12 誰もが輝くまちづくり
- 14 スポーツで輝くまちへ
- 16 築上町PRソング『築上の風』
- 18 先人たちが築き上げてきた歴史と文化
- 20 にぎわいを築くまち
- 21 生涯にわたり学ぶまち
- 22 “おいしい”がたくさんあるまち
- 24 未来を見据えた
- 26 資源循環型農業のまち
- 28 築上町これまでの“築き”
- 31 総合計画
- 31 町民の声を町政へ



## 子育て支援 センターの充実

親子の友達づくりや、育児不安解消のための情報交換、憩いの場を提供しているのが築上町子育て支援センターです。日々の子育てでは育児やしつけのこと、遊び場や友達のこと、成長のことなどで不安になりがち。児童館や築城社会福祉センターで行われる「なかよし広場」など、親子で楽しく、心身ともに安心して子育てができる環境を整えています。



児童館



築城社会福祉センター



てくく  
育ぶぶ  
てきき  
まきき



## 安心して 子育てが できるまち

子どもを見守り、子育て家庭を支え、健やかな成長を一緒に喜び合える。築上町には、そんなあたたかな地域があります。子どもや子育て家庭を取り巻く環境が厳しい中、子どもはまちの未来を担う宝という想いのもと、豊かな自然に触れながら感受性豊かに育つまち、安心して子育てができるまちづくりを進めています。



新しくなった築上町立築城中学校は、京築産材の利用や各教室の冷暖房完備など、教育環境に配慮した校舎です。



次世代を担う子どもたちを健やかに育む築上町立椎田そらいろ保育園。明るくぬくもりある環境でのびのび過ごしています。

## 学力向上 築上塾開講!!

学力向上を目的として、町内小学校4年生と中学校3年生の希望者を対象に、少人数制の習熟度別指導を行う「築上塾（土曜講座）」小学生には日頃の勉強を振り返る機会に、そして中学生には、主に受験に向けて実力を身に付ける場となっています。



## 4つの放課後 児童クラブ

共働きなどで、家に帰っても保護者のいない家庭の子どもたちが、安全に楽しく過ごせるように、また、異年齢集団の中で、個性を生かし、心豊かな元氣な子どもを育成する場として、放課後児童クラブを運営しています。木質系の内装や省エネ器具など、健康や環境に配慮した施設を備えています。



築城キッズ児童クラブ



おにっ子児童クラブ



ひまわり児童クラブ



まいのこキッズ児童クラブ

あたたかい  
地域に  
見守られる  
子育て

家庭を離れ共同生活を体験する「通学合宿」を町内4か所で実施。子どもたちは1週間、地域の人に支えられるながら小学校に通い、「共に暮らす喜びや困難」などを学んでいます。また、全小中学校に導入された「コミュニティ・スクール」では、伝統芸能の授業など、「地域とともにある学校づくり」に取り組んでいます。地域に見守られる子育てを通して、子どもの健やかな成長とともに、地域もまた、元氣と笑顔をもたらしています。



くく町  
づく上  
まき築



生まれたときから  
切れ目のない  
ライフステージの  
サポート

築上町では、未来を支える子ども  
の生命を護ることを何よりも大切  
に、子育ての各段階に応じたきめ細  
やかな支援を行っています。まちの  
保健師による赤ちゃん訪問をはじめ  
、孤立しがちな子育てを第一歩か  
らサポート。一時預かりや病後児保  
育など多様化する保育ニーズに対応  
しています。教育面では、ICT教育  
や小中学生の国際交流など、多彩な  
学びの場を提供しています。  
若い世代の結婚・出産・子育ての

希望を叶える施策や自然文化を大切  
にするまちづくりなど、「このまちで  
暮らしたい」「暮らしてよかった」と  
思える築上町を目指しています。そ  
のためにも重要なのが魅力あるしごと  
づくりです。地場産業や将来の成  
長が見込まれる産業の強化を図って  
いる他、主要産業である農林水産業  
の付加価値を高め、働く場の創出や  
担い手育成の仕組みづくりを行って  
います。職場以外でも、女性消防団  
のように地域で活躍できる場が多い  
ことも築上町の魅力です。  
また、地元への愛着や将来にわた  
り「築上町に住みたい」という想いを  
育みながら、子どもから高齢者まで  
すべての人が生涯を通して健やかな  
暮らしを築けるよう、健康長寿のま  
ちづくりを進めています。



暮らしやすいまちに気  
づき、もっと暮らしやす  
いまちを築く。築上町  
の願いです。

60

60歳  
高齢期

高齢者が  
いきいきと  
暮らしています



美しい自然や  
おいしい食材が  
いっぱい



20

20歳  
成壮年期

女性消防団も  
活躍中!



12

12歳  
青少年期

このまちが  
大好きです



学校が  
とても楽しい  
です

6

約6歳  
児童期

遊べる公園が  
いっぱい!



0歳  
乳幼児期



築上町で築く ライフステージ

生きがいと  
健康づくり



築上町老人クラブ連合会では、生きがいと健康づくりに繋がるスポーツや文化活動を通して交流を図り、明るい長寿社会を目指しています。

新規就農を  
サポート



新たな農業の担い手を確保し、地域農業の振興を図るため、新しく農業を始める就農希望者に対して、経営相談や技術指導などの支援を行っています。

男女問わず  
消防団で活躍!



平成28年度から女性消防団と役場消防団が発足。愛する地域を守ろうと、広域消防と一体となり、日々防火・防災活動にまい進しています。

次世代の  
リーダーを育成!



築上町ジュニアリーダークラブは、中学生から社会人までの青少年が、年齢や地域の枠を越え、ボランティア活動などを行っています。

子どもたちが  
いきいきと育つ環境



心身の健康を育む教育環境のもと、郷土の歴史・文化を学び、未来へはばたく国際感覚豊かな生きる力を備えた子どもの育成を支援します。

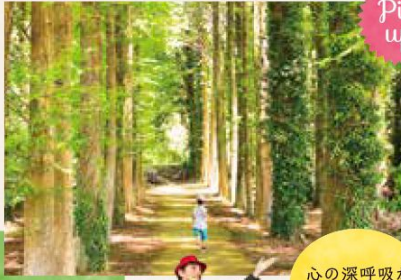
生まれる前から  
充実のサポート



妊婦さんの健康状態や胎児の成長を確認するために大切な妊婦健康診査。町では健診の費用を一部助成しています。

## 物産館 メタセの杜

メタセコイアの木々に囲まれた憩いの空間。地元で採れた新鮮野菜、農産物加工品など築上町の旬の味を取り揃えた物産館や、広大な芝生広場など、買い物やレジャーに人気のスポットです。



Pick up!

## 隊員食堂カレー

航空自衛隊員の間でおいしいと評判の「築城基地名物隊員食堂カレー」。レトルトパックで販売中です。



心の深呼吸ができる場所

## 古民家食庵 伝法寺庄

古民家「旧竹内邸」を改修した、故郷の家庭料理が味わえる食事処。重厚な柱や梁、漆喰の落ち着いた室内は、山水画のふすまや障子が調和しています。くつろぎの空間で、地元の主婦たちによる心をこめた手料理をお出しします。



Pick up!



タイムスリップしたような空間!



Pick up!



## 本庄の大楠

推定樹齡1900年、日本三大楠の一つで国の天然記念物。火災から奇跡的に蘇った生命力に満ちた姿から、諸災を免れ長寿を得るシンボルとして愛されています。

シンガーソングライター 富永裕輔

北九州市出身。早稲田大学アカペラサークルを経て2007年デビュー。築上町PRソング『築上の風』『CHIKUJO RAP』作詞・作曲・歌唱。築上町観光大使の他、北九州市文化大使、八王子観光PR特使。



築上町の魅力にきづく

物産館  
メタセの杜

航空自衛隊  
築城基地

航空ショーが  
大人気!

築上町の  
魅力に気づく旅へ  
Let's Go!



# 築上町 Map

福岡県の東部、周防灘を臨む築上町は海、山、歴史文化、にぎわいあふれるまちです。

Pick up!

## 中津街道

小倉城下の常盤橋から中津城下を結ぶ全長約50kmの主要幹線道路。寛文年間(1661~1673)に細川忠興が整備したといわれています。街道の途中には7か所の宿場が設けられ、特に椎田宿は、築城部屋も置かれ交通の要衝として栄えました。



文化発信の場!

好アクセスは自慢の一つ

Pick up!

## 交通が便利!

東九州自動車道のインターチェンジが3つあり、北九州市から大分県、宮崎県を経由し、鹿児島県へとつながっています。また、国道10号とJR日豊本線が町の北部を貫き、北九州市や大分市などの地方中核都市と連絡。空路については、北九州空港まで約20km圏に位置しており、利便性の高いまちです。



Pick up!

## 綱敷天満宮

菅原道真公ゆかりの天満宮。社殿周辺には約1,000本の梅が植えられており、見頃は紅・白・ピンクの花が咲き誇ります。

## 心の深呼吸ができるまち、築上町!

何度も築上町に訪れていますが、歴史や文化が素晴らしいまち、地産地消の取り組みが根付いている豊かなまちだと感じます。また、祭りの中にダンスコンテストなど、時代の流れをくんだステージもあり、歴史・文化とともに、新しいものを築いているところが築上町の魅力ですね。そして、来る人を温かく迎え、受け入れてくれるまちだと思います。訪れるたびに、自分の背中を押してくれる、そんな築上町への想いを表現した歌が『築上の風』です。都会に疲れたら、自然、人、食、文化が豊かな築上町に、ぜひ一度遊びに来てください!

築上町  
マスコットキャラクター  
築上(まさ)すま(すま)のぼる(ぼる)くん



築上町観光大使  
富永裕輔さん

## 便利で行き届いた ライフライン

福岡県の最も東に位置する京築地域。その中にある築上町は、波穏やかな周防灘に面し、英彦山や犬ヶ岳、国見山などの山々を背にする、海と山の恵みをいただく町です。そんな町域の北部には、「福岡県自然百選」せとうち風景30選に選ばれた美しい海岸線に沿って、JR日豊本線、国道10号、東九州自動車道(椎田道路)、県道58号椎田勝山線が並走しています。北九州市や大分市と連絡するこれらの基幹交通に加え、平成28年4月には東九州自動車道の椎田南ICと豊前に間が開通。北九州市から宮崎市まで高速道路が直結し、東九州の活性化が見込まれる中、3つのインターチェンジを有する築上町にもぎわいが生まれてきました。特に中心市街地では、新庁舎建設や駅前広場整備など、生活拠点の充実で活力あるまちへと進化を続けています。



JR日豊本線



コミュニティバス



3つのインターチェンジ



国道10号



## 住み良い築上町

アクセス環境の良さから多くの交流でにぎわいが生まれるまち。豊かな暮らしが築かれています。



## 定住者 インタビュー



### Interview

#### 空き家で新しい暮らし

「夫の通勤圏内にあるたくさんの自治体で家探しをしました。『お子さんの成長を考え、計画を練りに練って築上町への移住を決めた』家族。『最初に訪れた自治体が築上町でした。町の対応もとても親切で、タイミングよく空き家を紹介していただいたこともあり、すぐに夫婦で意気投合。もちろん他にもたくさん見てまわりましたが、いろいろな縁もあり、娘が小学校に入るタイミングで隣の県から築上町へ引っ越ししてきました。田舎に住むということは、メリットもデメリットもあると思います。慣れない地域活動に参加していく中で、少しずつ地域のみなさん

#### ふるさとで夢を実現

「田舎暮らしがしてみたいという夫の熱意に押され、私(妻)のふるさとに戻ることにしました。関西から築上町に移住した長洲さん夫妻は、田んぼの広がる築上町本庄でパン屋「じゅあん」を営んでいます。二人とも蕎麦やパンを作るのが大好きだったんです。50歳を超えて元気だし、さて何をしよう、食めぐりでおいしいものをたくさん見たり食べたりするなかで『自分たちも作ってみようか?』となり、思い切ってパン屋をやってみることにしました。実際に住んでみて、景色もきれいで山がきもちいいですよ。山菜をとったり、竹で何かつくったりと、山が生活の

中にあるという感じ。田舎でもネット環境があれば欲しいものを手に入れることができます。移住するタイミングで町に光回線が整備されたのも良かったです。取材中も、パンを買いに来た小さな女の子が嬉しそうにショークースをのぞく姿がみられました。『畑で育てた野菜でどんなパンを作ろうかと考えるのも楽しみ。』というほっこりな長洲さん夫妻のもとには、地域のみなさんの笑顔が集まっていました。

取材中、ご近所さんから採れたて野菜の差し入れ。あたたかい日常が垣間見えました。

とも打ち解け、『あなたが来てくれる地域が明るくなった』と言ってもらえたときは嬉しかったですね。移住の経験を生かして、移住した方と地域の方とをつなぐパイプ役になっていたらと思っています。地域や教育環境について真剣に思いを語るご夫妻。空き家バンクで購入した一軒家の壁をお父さんが楽しみに塗り替えている隣で、縄跳びの練習をがんばるお子さんの明るい笑顔がはじけました。

のどかなあぜ道をお友達と楽しく登校するお子さん。小学校にもすぐに慣れたそうです。

## 定住者支援の 取り組み

空き家バンクをより利用しやすくするため、改修費用や不動産仲介手数料の補助などを行っています。また、築上町での新規就農、起業・創業をお考えの方向けに、相談窓口を設置しています。





## 自治会について

築上町には66の自治会があり、住民同士の交流や地域の賑わいを生むイベント、防災・福祉の取り組みなど、それぞれが特色ある幅広い活動を展開しています。また、地域の課題を検討し計画的なまちづくりを進めるため、各自治会で「地区実施計画書」を作成。各自治会長で組織する自治会長会では、先進地視察などを通じてまちづくりを学び、互いに支え合う活力ある地域づくりに取り組んでいます。

## 1 地域

### 行政と地域を結ぶ窓口的存在！

地区に関することなら何でも、行政と地域を結ぶ窓口的な役割を担っています。築上町の人たちは協力的で、みんな忙しい中、助け合いながら生活しています。そんな町の人たちが幸せになってくれたら良いという想いで、会長を務めてきました。少子高齢化などの課題もありますが、自治会が一致団結し、明るい築上町の未来を築いていきたいと思っています。



築上町自治会長  
中村信雄さん



## 誰もが輝くまちづくり

子どもたちが夢を追い続けたり、地域の人が世代を越えて活動したり…。一人ひとりの輝きによって、まちの未来が明るく照らされています。

### 多様な人たちが幸せに暮らせるように！

男女共同参画ネットでは、イベントや講演会、オリジナル広報紙「まあるく参画」などを通して、築上町に住む多様な人たちが幸せに暮らしていくための啓発を町の計画書等に基づいて行っています。男女という枠組みや先入観を持たずに、誰もが楽しく生きることを町の人たちと一緒に考えていきたいと思っています。また、受け継いできたこの活動を次の世代へバトンを繋ぐことで、自分たちが受けた恩をお返ししていきたいです。



築上町男女共同参画ネット  
中村莉香さん

## 2 人権

### 心豊かに 誰もが活躍 できるまち

築上町では、築上町人権・同和問題啓発推進実行委員会等と協働でさまざまな人権教育・啓発活動を行い、「人権文化のまちづくり」に取り組んでいます。すべての人権が等しく保障され、一人ひとりがお互いの個性や価値観を認め合い、安心して心豊かに生活できるよう、生涯のあらゆる機会を通して人権について学べる取り組みを進めています。

## オレンジカフェ きづき

「オレンジカフェきづき」は、認知症の人やその家族・地域住民など誰もが集うことができる場所です。認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを目的とし、脳トレなどのレクリエーションや正しい知識の普及啓発、職員による相談などを行い、認知症の方や家族を支えるための対策を進めています。



## ふれあい 健康サロン

「ふれあい健康サロン」は、自治会単位で集会所などを会場とし、健康づくりと介護予防を目的に集うサロンです。健康チェックや健康相談、健康体操の他、住民自らが地域の特性に応じた計画を立てて実施。介護予防の面では、運動機能維持向上のための体操や、口腔機能維持向上のプログラムなどを実施しています。



## 3 福祉



## 高齢者 生きがい教室

閉じこもりがちな高齢者の社会的孤立感を解消することを目的に、陶芸や書道、ヨガなどの教室を毎年開講しています。「足腰を丈夫に」「健康になりたい」などを理由に気兼ねなく参加できる教室で、身体の調子が良くなっただけでなく、「おしゃべりで元気をもらっている」という人も多いようです。



# 互いを尊重し、多様性への理解を深めていく 「ユニバーサルデザイン」の まちづくり

誰もがスポーツを  
体験できる場づくり

スポーツを通じた交流が盛んな築上町。さまざまな競技会や体験会が町内各地で行われる「築上町ふれあいスポーツフェスティバル」や、障がいがある方を対象としたマリンスポーツ体験や水泳教室など、誰もがスポーツを楽しめる場づくりに取り組んでいます。B&G海洋センター事業では、水の事故防止を目的とした「水辺の安全教室」や、カヌー、ローボート競技が体験できる「築上町海洋クラブ」の取り組みなど、安全に楽しく水に慣れ親しむ機会を提供しています。

総合型地域スポーツクラブのNPO法人しいだコミュニティ倶楽部では、健康ダンスやソフトテニス、カラオケなど多目的の教室を開催し、さまざまな世代の人がスポーツ・文化活動を通して交流し、健康づくり、明るい地域づくりに貢献しています。

## 共生社会 ホストタウン



障がい者スポーツの普及・振興に取り組んできた築上町では「Leave No One Behind」をテーマとして取り残さないをテーマに掲げ、東京2020パラリンピック関連事業などを実施。令和元年8月には町として全国初となる「共生社会ホストタウン」に登録されました。これから更にユニバーサルデザインのまちづくり、心のバリアフリーに向けた歩みを進めていきます。



## スポーツで 輝くまちへ

人々に勇気を与え、まちに元気を与える  
スポーツの多様な可能性。  
心と体の成長にみんなが取り組んでいます。



スポーツに携わる各種団体と協力して、気軽に参加できるスポーツ・レクリエーションを展開しています。



小学校のプールで実施した「水辺の安全教室」では、児童たちが着衣水泳などを通して安全に水に親しむ方法を学びます。

## 東京2020 オリンピック・ パラリンピック・聖火リレー



一瞬を  
一生の記憶に



事前キャンプの受け入れや聖火リレールート決定を記念し、町民の顔写真でぎざぎざのぼるを描いた「築上2020」ポスターを作製するなど、町の皆さんが一体となり楽しめるような活動に取り組んでいます。

## 国際交流も盛ん

中国との小学校姉妹校交流など世界に目を向けた取り組みを行ってきた築上町では、東京2020オリンピック・パラリンピック開催に際し、オセアニア島しょ国のホストタウンに登録されたことを契機に国際交流をさらに活発化。海外青年招致事業（JETプログラム）によるオセアニア地域からの国際交流員の任用や、町内中学生のグアムへの海外派遣事業参加など、世界とつながり、人と文化が交流するまちづくりを進めています。



緑の芝が広がるパークゴルフ場は、町内だけでなく都市部からの来場者も多い施設。用具の貸し出しもあり気軽に利用できます。



「障がい者マリンスポーツ体験教室」では専門指導員のもとカヌーや救助艇への乗艇など、参加者は水に親しみスポーツの楽しさを体験します。

## スポーツを通して まちを元気に！

築上町に移り住んで約25年がたちますが、これまでの恩返しができばという想いで活動しています。東京2020オリンピックの聖火が築上町を通るといことで、町全体が盛り上がり、私自身とても楽しみです。スポーツは、子どもから大人まで誰もが気軽に楽しみなが取り組めます。そのことを少しでも多くの町民の方々に伝えたい、スポーツ推進委員一丸となって、これからも一生懸命活動していきます。



築上町スポーツ推進委員会  
熊谷博明さん





築上の風が吹く いつも見守ってる



心の中にあるふるさは 大切なひとの笑顔



築上町PRソング  
『築上の風』

作詞・作曲 築上町観光大使 富永裕輔

シンガーソングライターの富永裕輔さんは、築上町のことを「心のふるさと」「心の深呼吸ができる場所」と語ります。まちの魅力を歌に乗せて届けたい。そんな想いから生まれたのが『築上の風』で、まちの情景をやさしく歌ったバラードです。



今も受け継がれる

## 7つの神楽

築上町の神楽は、江戸時代までは旧築城郡16の社家(神職)で構成され、各神社に奉納していました。町内には現在も7つの神楽(赤幡、寒田、小原・岩丸・伝法寺岩戸・様原・湊金富)が継承されており、豊前神楽として国の重要無形民俗文化財に指定されています。人々の無病息災や祝福を祈り、五穀豊穣を感謝する神楽は地域の人々の交流の場でもあり、各保存会では祭りでの奉納と後継者の育成に取り組んでいます。

先人たちが  
築き上げてきた

# 歴史と文化

国指定名勝

## 旧藏内邸

旧藏内邸は明治時代から昭和前期まで筑豊地方を中心に炭鉱を営んだ藏内次郎作、保房、次郎兵衛の藏内家三代の本家住宅。邸宅や庭園は、全体が近代的な優れた造形、意匠、工法でまとめられ、現在も周辺の景観とともに当時の状態をよく残しています。近代における重要な歴史遺産です。



国指定史跡

## 船迫窯跡公園

発掘調査によって、6世紀後半の須恵器を焼いた窯跡から、7世紀中頃の九州最古級の瓦を焼いた窯跡、奈良時代の豊前国分寺の瓦を焼いた窯跡などが発見されています。敷地内には工房跡の大型建物が復元され、山の中には発掘された窯跡の現物を見学できます。



戦国のムラ

## 城井谷

築上町には数多くの山城や砦跡が今も山中に残っています。中でも豊前宇都宮氏の興亡を物語るのが戦国のムラ・城井谷です。「城井谷絵図」に「城井盾籠所」と書かれた城井ノ上城址には巨岩の表門と裏門があります。周囲を岩壁に囲まれた地形で、村人などが避難のため籠る場所と考えられています。



伝統芸能  
楽打

五穀豊穣や雨乞い、天下泰平等を祈願する「楽打」は、念仏踊系の伝統芸能。町内では、高塚楽、岩戸楽、安武楽があり、子どもたちが太鼓や鉦の拍子に舞います。



伝統芸能

## 円座餅搗き

秋祭の神饌の餅を搗く時に「われも、われもと大勢が棒で搗いたのが始まり。しめこみ姿の男衆による餅搗きでは、白練りという勇ましい白の奪い合いが行われます。



築上町  
歴史散歩



町内の史跡、歴史、まつりなどを紹介するホームページ。菅原道真公ゆかりの綱敷天満宮、豊前宇都宮氏の山城や伝統芸能など、歴史が盛りだくさんの築上町を地図上で確認できる機能も備えています。

## 築上町の文化を 未来へー

築上町では多くの文化活動が行われています。その集大成として、町民文化祭を毎年開催しています。園児から高齢者まで幅広い世代の参加があり、毎年多くの来館者で賑わいます。文化は、老若男女誰もが取り組める大切なものです。これからは若い人たちにも文化を受け継いでほしいと願っています。歴史や伝統を守ることというこは、壁をつくることではありません。まずは私たちが、受け継いでいってくれる人たちを受け入れながら、文化の輪を広げていきたいですね。

築上町文化協会  
首藤萬壽美さん

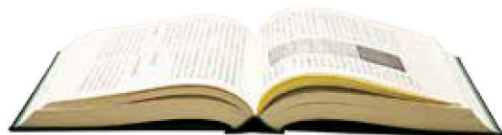


町民自らが教養を高め、健康を増進し、情操豊かな人生を送ることができるよう、「築上町民大学」を開講しています。講座の内容は多岐にわたり、俳句教室や着付け教室、郷土の歴史講座、スタンディング教室、パソコン教室などさまざま。平均月1〜2回程度実施されており、楽しく学び、仲良く語り合い、心のふれあいを育む場となっています。教養を身に付けながら、受講者同士の交流が広がり、生きがいある暮らしにもつながっています。

## 町民大学



# 生涯にわたり 学ぶまち



一人ひとりの学習活動が  
心豊かな生活を営み、生きがいある  
充実した人生を築いています。

## 町民文化祭



文化の秋、町内の各会場で盛り上がるのが町民文化祭です。文化協会や自治会、各種団体の発表会によるステージ部門、お茶席や仕舞・謡曲などの催し物部門、自治会や各種団体による展示部門に分かれ、多種多様な作品・ステージが勢ぞろいします。出演者や出品者が一年間の成果を披露し、町民一人ひとりが主役になる瞬間。それぞれの会場で繰り広げられる文化の祭典は、訪れる人の心に参加者の思いが届けられています。

## ちくじょう祭り

築上町の良さを次世代や町内外の人に伝えるために開催。神楽や園児のステージ、ダンスコンテストやグルメグランプリなど、多くのイベントでにぎわいます。



# にぎわいを 築くまち



## 白い彼岸花祭り

約1万本の白い彼岸花が美しく咲く9月下旬に行われます。地元野菜や特産品の販売、野立なども同時開催しています。

## しいた梅祭り

菅原道真公ゆかりの綱敷天満宮境内に咲き誇る約1,000本の梅の花。天神市(出店)や神楽、どんど焼きなど、さまざまなイベントでにぎわいます。



## 観光資源の豊富な町!

年間を通して町の催し事の主催や協賛、PR活動などを行なっています。特に「ちくじょう祭り」は、合併後にできたお祭りで、毎年町全体で盛り上げるため、観光協会一丸となって奮闘しています。また、隊員食堂カレーや焼酎などの特産品開発も手掛けており、人気も上々です。築上町は、海、山、神社仏閣などの観光資源が豊富な町です。これから、若い世代にももっと活躍してもらい、前向きに地域を盛り上げていきたいと思っています。

NPO法人築上町観光協会  
竹中利幸さん



## 天神山したれ桜祭り

築上町本庄の天神山の山際に立つシダザクラ。ステージイベントや特産品販売などの他、ライトアップで美しく彩られます。

## 智恵の文殊大祭 (伝法寺)

年に一度ご開帳される正光寺の文殊菩薩像。文殊様の智慧を授かるうと、受験生をはじめ、多くの人々が訪れます。



## 智慧の文殊祭 (下日奈古)

下日奈古文化公園に祀られた文殊菩薩像がご開帳され、多くの参拝客でにぎわいます。ぜんざいの無料配布のほか、智慧餅や農産物等の販売を行います。



平均糖度17度以上!

## イチジク

福岡県で選ばれた農家しか生産ができない「とよみつひめ」を栽培。甘味が特徴で、後味はさっぱりしています。



## いちご

高級いちごとして全国に知られる「あまおう」を栽培。丸くて大きな実、みずみずしい果汁、甘味と酸味が絶妙で濃厚な味わいです。

ブランドいちごの王様



栄養満点の緑黄色野菜

## ブロッコリー

栄養価が高く食物繊維も豊富なブロッコリー。町内では、ブロッコリーを生産する若手生産者が増えています。



期待の新品種!

## キウイフルーツ

福岡県が開発した新品種「甘うい」。大ぶりで糖度が高く、酸味が少なく、黄緑(イエローグリーン)の果肉が特徴です。



たぐさんの海の幸・山の幸が自慢です!

“**おいしい**”  
がたぐさんあるまち

自慢の特産品  
山の幸 × 海の幸



京築地域の初夏の味覚

## スイートコーン

京築地域はスイートコーンの栽培が盛ん。メロンより甘いとされるほど甘みが強く、ふるさと納税の返礼品としても喜ばれています。

## 築上町をもっと豊かに!

30年以上前、父の代からキクイモ栽培を続けており、地域が元気になってほしいという思いでこの活動をはじめました。収穫時期には、メタセの杜で試食販売をしてキクイモの美味しさを伝えながら、生産から特産品開発までを手掛けています。また、耕作放棄地にキクイモを植えて、土地を有効活用する取り組みも行っています。これから、キクイモ生産者が益々増えて、築上町がもっと豊かになれば良いと思っています。



築上町きくいもクラブ 中安洋子さん

うまみ凝縮

## アサリ

築上町沿岸で採れる「しいだアサリ」。身は大きくふっくら。殻は厚く火にかけると、うまみたっぷりの白濁した濃いダシが出ます。



## カキ

「豊前海一粒かき」と呼ばれる福岡県ブランド。ふっくら大粒の身は、磯の香りと濃厚な味わいが口いっぱい広がります。

人気のブランド牡蠣

栄養満点の恵み

## 自然薯

体に良い成分を多く含み、疲労回復や老化防止・美肌効果があるといわれる自然薯。コンが強く、弾力がある粘りは食べ応え十分です。

みずみずしいおいしさ

## レタス

京築地域にある築上町は、降水量が少なく、海も近いまち。冬場でも温暖で農業に適しており、冬のレタス栽培が行なわれています。

## キクイモ

血糖値を下げるなどの機能性が話題のイヌリンを含むキクイモ。健康野菜といわれ、どんな料理にも合う万能食材です。



話題の健康野菜

## ヤーコン

キクイモと同じ健康野菜として注目されています。低カロリーでオリゴ糖やポリフェノールを多く含み、シャキシャキした食感です。

腸内環境の改善に



築上町  
ふるさと納税

海の幸・山の幸が豊富な築上町。町内では旬の時期になると、物産館やふれあい市場などに新鮮な食材が並びます。「豊前海一粒かき」「スイートコーン」「しいだアサリ」は返礼品としても大人気です。

地域で作って  
地域で食べるを  
あたりまえに

「食」は「いのち」を育む大切なもの。まちづくりに「子ども」の生命を護る」と掲げる築上町では、「食」と「農」の循環を大切に、地域で行われる資源循環型農業を支えています。平成6年（1994）4月から、し尿を好気性発酵させて有機液状堆肥（液肥）化し、農地に還元する資源循環型農業を推進。また、有機液肥利用者協議会と連携し、小学生を対象に液肥を使った米づくり体験を支援しています。液肥栽培米は「シャンシャーン米・環（たまき）」としてブランド化され、町内小中学校の米飯給食に供給しています。資源循環による環境にやさしい農業を実践し、「食育」につなげる築上町の取り組み。子どもたちは資源循環型農業を学び、「食べる」と「つくる」ことのつながりを知り、地域で作って地域で食べることの大切さを体感しています。



未来を見据えた  
資源循環型  
農業のまち



！  
学校と  
連動した  
食と農業の  
イイ関係

資源循環型農業を子どもたちに理解してもらえよう、小学校の総合学習で独自の取り組みを紹介し、液肥を使った米づくり体験を実施。このような資源循環型農業は平成14年度から統廃されており、町の液肥事業の普及と食育の一翼を担っています。授業を通して、子どもたちは町内で生産される米や野菜を食べ、し尿が液肥となり、資源循環型農業が成り立っていることを理解しています。また小学校では、地域の農家の指導を受けながら学校田で米を育てています。子どもたちは、液肥を体験した学校田で田植えを体験。秋に収穫し、給食米として味わっています。自分で米を作れば愛着がわき、食べ物を無駄にしないようになります。子どもたちの手で育てることは、心と体を養い、健全に生きるための力を培っています。さらに、町が策定する食育基本計画では、野菜も含めた自給的な給食を目指しています。

おいしいお米を  
食べてもらいたい



築上町有機液肥利用者協議会  
鎌ヶ江和博さん

平成6年から液肥を使った液肥栽培米の生産に取り組んでいます。当初は機械等をそろえることも大変で、なかなか普及しませんでした。学校給食に使用してもらえるようになったことで、子どもたちに環境や食のサイクルについて身近に学んでもらい、少しずつ取組みが浸透してきました。

お米の名前は全国公募により「シャンシャーン米 環（たまき）」と名付けました。「シャンシャーン」とは方言で「しっかり、しゃきつ」という意味です。品種は、夢つくいで、現在では、味も良いと喜んでいただけるようになりました。また、九州各方面から視察も増え、これまで続けてきた成果を感じられるようになりました。今後は、築上町として資源循環型農業を推進していきながら、後継者が育つよう継続して農業に取り組める環境づくりをしていきたいと思います。

これまでの「築き」



NEW

新たに「築く」  
築上町

令和2年度  
新庁舎完成

令和3年1月、まちづくりの重要拠点として新たな庁舎の供用を開始しました。新庁舎は、震度6強に耐えうる耐震性を確保し、また災害時は会議室などを避難所として開放できるなど、防災拠点として安心・安全に利用できる庁舎です。また、カウンターに間仕切りを設置、個室の相談室を設けるなどフレイバシーに配慮。車いすやオストメイトなどに対応した多目的トイレを各階に設置するなど、利用しやすいすべての人にやさしい庁舎となりました。



令和4年度の完成を目指し、新たなまちの拠点「駅前広場」(駅前広場)の整備事業を進めています。人や車の流れをスムーズにし、誰もが安全に利用できる駅前広場となるとともに、駅を利用する人や町を訪れる人をやさしく出迎え、駅前を元気にしてくれる、そんな「駅前広場」を目指して整備していきます。



- 平成18年
- 平成20年
- 平成21年
- 平成22年
- 平成23年
- 平成24年
- 平成25年
- 平成26年
- 平成27年
- 平成28年
- 平成29年
- 平成30年
- 平成31年  
(令和元年)
- 令和3年

1 椎田町と築城町が合併し「築上町」が誕生

■ コミュニティバス運行開始  
■ 神楽・民俗芸能祭初開催  
■ ふるさと納税制度開始  
■ 椎田小学校が中日友好希望小学校(中国南京市六合区)と姉妹校提携  
■ 中国金壇市(現・常州市金壇区)と「循環型農業推進友好協定」締結  
■ 中国黒龍江省290農場と「友好交流都市協定」締結  
■ 中津市ほか5市町で定住自立圏形成協定締結  
■ 築上西高等学校上城井分校閉校  
■ 広域農道「京築アグリライン」全線開通  
■ 築上町制施行5周年記念式典  
■ 築城小学校が薛埜中心小学校(中国常州市金壇区)と姉妹校提携  
■ 町内全小・中学校週5日米飯給食実施  
■ ちくじょう祭り初開催  
■ 火葬場(H21年完成)福岡県美しいまちづくり建築賞大賞受賞



1 椎田町と築城町が合併し「築上町」が誕生



2 火葬場(H21年完成)福岡県美しいまちづくり建築賞大賞受賞

2 火葬場(H21年完成)福岡県美しいまちづくり建築賞大賞受賞

■ 築城放課後児童クラブ室オープン  
■ 松嵐山閣に町民栄誉賞を授与  
■ 東九州コミュニティ放送株式会社と「災害協定」締結  
■ コミュニティセンター(ソビア)開館  
■ 旧蔵内邸一般公開開始  
■ 町内全域に光情報通信サービス開始  
■ マスコットキャラクター「築上(きま)まきのぼる」誕生



3 松嵐山閣に町民栄誉賞を授与



4 コミュニティセンター(ソビア)開館

■ 東九州自動車道開通(みやこ豊津IC⇔椎田南IC)初の地域おし協力隊着任

■ 緑のふるさと協力隊10周年記念シンポジウム  
■ 旧蔵内氏庭園が国名勝に指定  
■ 八津田放課後児童クラブ室オープン  
■ 下城井放課後児童クラブ室オープン  
■ オレンジカフェいきつきオープン  
■ 町内小・中学校「最先端ICT教育」導入  
■ アサリ資源回復事業(アサリ養殖)の取組開始  
■ 築上町制施行10周年記念式典  
■ 女性消防団・役場消防団発足  
■ 東九州自動車道開通(椎田南IC⇔豊前IC)築上塾(土曜講座)開講



5 緑のふるさと協力隊10周年記念シンポジウム



6 築上町制施行10周年記念式典

■ 旧蔵内邸入館者10万人到達

■ 旧蔵内氏庭園が国名勝に追加指定  
■ 古民家食庵伝法寺庄(旧竹内邸)オープン  
■ 富永裕輔 築上町観光大使就任  
■ 町内全小・中学校に「コミュニティ・スクール」導入  
■ 福岡県市町村名勝庭園協議会発足  
■ 町内神楽7団体「国指定重要無形民俗文化財」指定  
■ 空き家バンク関連補助金制度開始  
■ 出逢い支援事業開始



7 富永裕輔 築上町観光大使就任



8 第2有機液肥製造施設完成

平成30年

■ 第2有機液肥製造施設完成  
■ 町立椎田そらいろ保育園開園  
■ 町立築城中学校新校舎完成  
■ 東京2020オリンピック・パラリンピックホストタウン登録  
■ 日奈古グラウンド跡地で(株)ジョイフル福岡センター1号操業開始  
■ 東京2020オリンピック聖火リレー決定  
■ 国際交流員着任  
■ 共生社会ホストタウン登録  
■ 新庁舎供用開始



9 国際交流員着任



10 共生社会ホストタウン登録



## 総合計画

ふれあい  
1

やすらぎ  
2

いきいき  
3

誇り  
4

活力  
5

行政  
6

# “自然と歴史・文化を育む” 心と体の健康を求めた 『豊かな生活の場』づくり

まちづくりの歩み  
さらに未来へ

築上町は、豊かな自然・歴史・文化など、先人が培ってきた優れた資源を数多く有しています。これらの豊富な資源を改めて見直し、まちづくりにも総合的に活用することで、地域への誇りを呼び覚ますとともに、地域の独自性を尊重しながら、地域の一体化と均衡のとれた住みよいまちづくりが可能となります。こうした、これまでのまちづくりの歩みをさらに将来へつないでいくために、第2次総合計画の将来像（基本理念）を「自然と歴史・文化を育む・心と体の健康を求めた『豊かな生活の場』づくり」とし、まちづくりを進めています。

また、まちの未来を担う子どもたちの生命を護り、育てていくことが何よりも大切であると考え、地域が「丸」となって感受性豊かな子どもを育み持続可能な町を創生していくことを目指します。

1  
ふれあい

笑顔あふれる  
ふれあいの  
まちづくり

住民が自治会をはじめとするコミュニティを通して自主的・意欲的にまちづくりに参画でき、お互いを尊重し協働し合えるまちとしていきます。自治会の活動拠点となる公民館、集会所の整備をはじめ、地域の人が語り合う場の設定、人権や男女共同参画に関わる正しい理解を深めるための取組みや啓発活動などを展開し、地域イベントの実施などで住民どうしの交流を図ります。住民自らの手によるまちづくりを基本とし、住民ができることは可能な限り自立自興の精神によって住民の手で行い、全ての住民がふれあい、支え合い、誰もが活躍し笑顔があふれるまちとなつていくことを目指します。



人権街頭啓発



築上町民劇

2  
やすらぎ

やすらぎと  
安全・安心の  
まちづくり

豊かで美しい自然を守り、自然と共生しながら質の高い生活環境を兼ね備えた快適で安全・安心に暮らせるまちとしていきます。自然環境というかけがえのない財産を子孫へと引き継いでいくため、森林、河川、海への環境保全の取組みを進めていきます。また、自然災害や事故、事件などから住民を守るため、各種体制の整備、啓発、地域での取組みの推進を図ります。上下水道、住環境、こみ対策については安定的な運営ができるよう施設の整備と地域の実情に応じた事業を推進します。環境に配慮し、災害の予防や日常生活のインフラの充実により、安心して暮らせるまちとしていくことを目指します。



安全見守りサポーター



ゴミ処理

3  
いきいき

みんなが  
いきいきと  
暮らせる  
まちづくり

妊娠・出産・子育てから、生活習慣病予防、介護予防など、子どもから高齢者まで、ライフステージに応じた健康課題・福祉課題への切れ目のない対応を図り、誰もが健やかで生きがいをもって暮らせるまちとしていきます。住民の健康意識の向上や各種健（検）診受診の勧奨により、早い段階から生活習慣病などの予防・重症化防止、早期発見を目指し、子育て世代においては、保護者が子育てを楽しめるような環境づくりを推進します。また、高齢者が生涯活躍できる場の創出や地域包括ケア体制を整備することにも、健康づくりを進めることによって全ての人がいきいきと暮らせるまちとなることを目指します。



1歳すくすく教室



ふれあい健康サロン



築上町議会議場

## 町民の声を 町政へ

### 議会

築上町議会は、選挙により選ばれた14人の議員により構成され、本会議として年4回（3月、6月、9月、12月）の定例会、必要に応じて開催される臨時会を開催しています。その他に、総務産業建設、厚生文教などの各種委員会において、さまざまな課題について専門的な観点から審議を行っています。

町民の代表として、町政の更なる発展と福祉の向上のために、「町民から信頼される議会」を開かれた議会を目指しています。



副議長  
工藤 久司



議長  
武道 修司

### 行政

築上町では「広報ちくじょ」や町公式ホームページ、SNS、スターコネクトなどで町の取り組みや地域の話題を発信し町民一人ひとりのまちづくり参画への機運を高めるとともに、小学校区単位での町政懇談会やパブリックコメントの実施など、住民参加の行政につながる広報公聴活動に取り組んでいます。



町長  
新川 久三

副町長  
八野 紘海

教育長  
久保 ひろみ



築上町公式ホームページ



築上町公式フェイスブック



築上町公式LINEアカウント



町の鳥  
鶯(ウグイス)



町の花  
梅



町の木  
楠



築上町マスコットキャラクター  
築上(きずぎ)のぼる)



町章



社会教育委員によるふれあい囲碁指導



昔あそび体験

地域固有の歴史や伝統・文化を継承し、地元への愛着をもちつつ、未来へはばたく国際感覚豊かで、生きる力を備えた子どもを育てるまちとしていきます。基礎学力の育成をはじめ、家庭での教育力の向上を図り、伝統や文化の継承、体験学習など、地域で子どもを見守り育てる体制づくりに努めます。また、子どもから高齢者まで誰もがスポーツや芸術・文化などの活動に参加し、新たな文化・芸術が創造できる場づくりを推進します。幼少期からの体験学習や伝統・文化にふれる機会の創出により、地元への誇りを育み、さらに、自身への誇りへと導くことで、心と体の健康を育むまちとなることを目指します。

4

誇り

こころ豊かに  
一人ひとりの  
誇りを育む  
まちづくり



もみじウォーキング



アサリの養殖

海、町、里、山の調和を図り、町の特色を生かした個性豊かな魅力あるまちとしていきます。道路の整備や維持補修、公共交通の利便性の向上など、道路交通体系の整備を推進します。農林水産業の基盤整備を進め、第1次産業が独自に活性化できる体制を構築していきます。また、自然や歴史・文化を生かした滞在・体験型観光の推進、企業立地や企業支援、新たな雇用の確保と新たな地場産業の形成・育成、既存企業の育成・支援を行っています。地域性に合った、フランスのとれた産業を育成・振興し、地域資源を生かした観光や地域内外の人の交流を促し、活力にぎわいのあるまちを目指します。

5

活力

活力と  
にぎわいのある  
まちづくり



行政窓口



本庁舎

地方分権時代に入った地方自治体（行政）は、従来の「行政を運営する」から「経営する」へ考え方を変えなければなりません。財政面では、有利な補助金の獲得はもちろんのこと、課税の公平性のもとで町税の収納率を向上させ、将来を見据えた無駄のない施策を行っていきます。行政の仕事と財政内容をできるだけ情報公開し、住民との信頼関係を高め、小さな行政で捻出した財源を有効に使うようにします。そうして「築上町は子どもの生命を護り」、「自然と歴史・文化を育む」、「心と体の健康を求めた」豊かな生活の場」づくりに向けて行政と住民が力を合わせて進んでいけるように努めます。

6

行政

健全な  
行政経営を  
目指すまち



き づ く  
き づ く  
築 上 町

## 築上町町勢要覧

本庁

〒829-0392 福岡県築上郡築上町大字椎田891番地2  
電話番号:0930-56-0300(代表)

築城  
支所

〒829-0192 福岡県築上郡築上町大字築城1096番地  
電話番号:0930-52-0001(代表)

